

会 議 録

平成 29 年 4 月 14 日調整

審議会等名	平成 28 年度 第 3 回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 29 年 3 月 22 日 (水) 午後 2 時～ 4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	有
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>五十嵐章雄委員長 倉品章副委員長 山田喜浩委員 佐藤久恵委員 小川千春委員 本井晴信委員 山田彫子委員 六原佳子委員</p> <p>【説明のための職員】</p> <p>金子生涯学習課長 阿部生涯学習課長補佐 佐藤文化振興係長 伊藤生涯学習課主任</p> <p>【指定管理者】</p> <p>北浦館長 菊崎業務責任者 竹内副責任者 梅田副責任者</p>
協議題	<p>(1) 平成 28 年度の図書館利用状況について</p> <p>(2) 図書館活動の状況について</p> <p>(3) 平成 29 年度の運営計画について</p> <p>(4) その他</p>
生涯学習課長	(あいさつ)
五十嵐委員長	協議題(1) 平成 28 年度の図書館利用状況についての説明を求めたい。
図書館長	(協議題 (1) 平成 28 年度の図書館利用状況 (2) 図書館活動の状況について一括で説明)
五十嵐委員長	今の説明について質問・意見等あればお願いしたい。
六原委員	マイナンバーカードの登録があり、新規登録者数が増えているが、利用につながっていないのか。カードを持っているだけの人が増えているということか。
図書館長	小学生や高齢者も含め、マイナンバーカードで借りている方は徐々に増えているが、今のところ貸出冊数には結び付いていない。
六原委員	マイナンバーカードを持っていて、図書館に来ると何かいいことがあるみたいなのが広く知れ渡るとよいのではないかと。来やすい立地条件や雰囲気、魅力や特色が必要ではないかと。図書館のスタッフが、いろいろやっているとは感じている。音楽をかけてゆっくり本を読むためのスペースを作ったり、本を朗読したり等、面白い事をやり始めたと思っている。今後も、スタッフが楽しみながら、イベントをしないと、なかなか広がらないと思う。

	また、しかけ絵本は壊れやすい、そのリスクをどう考えるか。簡単に壊れたからといって買い替えが簡単にできるものでもなく、悩ましい部分が増えるのではないか。
山田（彫）委員	いろいろな取組をしていると私も思う。人口が減り、利用者も減っていくのだろうが、本館、下田分館に比べて、栄分館が落ち込む理由はどこにあるのか。
佐藤係長	本年度、一ノ木戸小学校跡地に子育て拠点施設「あそぼって」が整備され、すまいるランドから「あそぼって」に人が流れている。そのため、すまいるランドに隣接している栄分館の入館者数が減っているのではないかと考えている。
六原委員	「あそぼって」にも、絵本の貸出しや貸出しスペースはあるのか。
図書館長	「どこでも図書館」で本を団体貸出ししている。館内で見えていただく形をとっている。
六原委員	そこに何か読み聞かせのイベントを持って来るなど、何か働きかけは行っているのか。
梅田副責任者	本年度2回、「あそぼって」でお話の出前を行った。
六原委員	「どこでも図書館」の本で、貸出しを行うのは難しいか。
金子課長	貸出しは別の方法を考えていかないと難しい。団体貸出し冊数も100冊程度しか置いていない。
竹内副責任者	「どこでも図書館」のほかに、「あそぼって」所蔵の絵本があるため、図書館からは保護者がその場で見る本や、紙芝居を中心に配置している。
六原委員	絵本がそばにある環境がそろっているのは、子どもにとっては良いことだが、置いてあるだけでは読んでもらえないと思う。
本井委員	<p>手数も、時間も、お金も限られている中で、休みもせず、よくやっている。興味や関心のない市民を1人でもこちらの味方に付けるという意識をまず持ち、共有し、足並みをそろえる必要がある。</p> <p>かつて県立図書館で入館者数が激減した際、外に対して攻めの姿勢を見せ、特設コーナーの設置、閲覧場所の拡充、催し物の実施等で持ち直した。まさに今、その途中にいる。めげないで、続けてほしい。手一杯かもしれないが、もう少し続けてほしい。</p>
金子課長	<p>本井委員が言われたように、外に攻める姿勢、「見える化」をどのように外に発信していくのか等々、まだ見えていないところがある。</p> <p>私どもの公民館でも、来る人はある程度決まっているため、新しい人を開拓する「きっかけの1歩」事業を始めている。新規開拓をしていくのが、これからの課題だと思っている。</p>
小川委員	私も本館で本を借りたりする。私見だが、例えば病気のことを知りたい、探したいと来館しても、調べたいジャンルが書架のあちこちにあり探しにくい。分かりやすく、ここがそうだという表示があると、

	使いやすくなるのではないか。
五十嵐委員長	分類というか、案内表示が必要ということか。
倉品副委員長	ここには出ていないが、私も3月14日の語りの会「とびら」のイベントに参加したが、すごい参加数だった。50人以上いたようだ。昔ながらの語りも素晴らしかった。広報紙等で盛況の様子を周知してほしい。写真を使って、どんどん発信していくと良いのではないか。
五十嵐委員長	情報発信が、来年度の課題となりそうである。
山田（喜）委員	第1回協議会の際に、学校への情報発信を早めてほしいと要望を出したところ、早速実施していただいた。私も学校便りに3号ほどスペースを使って発信することができた。ぜひ、継続してほしい。
佐藤委員	学校の子どもたちの様子を見てみると、自動車文庫をすごく楽しみにしている。特に低学年は、学校の図書室よりも、自動車文庫で多く借りている。学校でも図書委員会と相談をしながら、どうやったら利用が増えるかと話している。全く本に興味がない子は、なかなか読む機会がなく、イベントにも乗ってこない。 読まない人や、興味がない人へのアプローチも、ちょっと観点を改めて検討する必要があると思う。
五十嵐委員長	質問だが、今まで住民基本カードを持っていて、それをマイナンバーカードに書き換えた際、利用者増加にカウントされるのか。
伊藤主任	恐らくマイナンバーカードの申込みをする時に、図書館機能を付けることを希望した数ということでカウントされると思われる。
五十嵐委員長	この表の数の中には私も含まれるか。
伊藤主任	含まれていると思う。
佐藤係長	来年度の広報さんじょうから1年間、毎月1日号に図書館特集ページを頂いた。今まで制限があって載せられなかった写真を載せ、情報発信をしていきたい。
五十嵐委員長	去年より、イベントの参加人数が増えている気がする。情報発信を更に進めていくことで、参加者を増やしていただきたい。
山田（彫）委員	マイナンバーカードを作る際に「図書の貸出し機能を付けますか」と言われ付けたところ、今まで持っていた図書カードが使えなくなった。マイナンバーカードは落とさないよう片付けておいて、別の図書カードを使いたいと思う。この登録者数が多いということは、決して良いことではないとも感じている。
倉品副委員長	便利なようで不便な面がある。
山田（彫）委員	図書カードは、常に持ち歩きたい。
五十嵐委員長	マイナンバーカードでは、図書館機能は要らないということにして、専用図書カードを利用したいということか。
金子課長	マイナンバーカードに図書館機能を追加しなければ、別に図書カードを申し込める。

五十嵐委員長	引き続き、協議題（3）平成 29 年度の運営計画について、説明いただきたい。
図書館長	（協議題（3）平成 29 年度の運営計画について、説明）
五十嵐委員長	基本的には今までを踏襲した上で、補足事項にあるビジネス支援や、広報に強力に取り組んでいくというのが、そのことについて質問や意見をお願いしたい。
図書館長	今までは予算の中でやろうとしていたが、予算で我慢するのではなく、やりたいことを、いろいろなところから集めていこうと思っている。逆に、こんなことを言っても無理かなと思っていることがあれば、教えていただきたい。
六原委員	本を買う際に、TRC から購入することは可能か。図書館で見て、自分で買いたいと思った時に、問合せができる窓口や、本を購入することができるサービスがあると助かる。また、「読み聞かせで好評」みたいなアナウンスがあると良い。希望する本が、この本屋にありますということが聞けるのであれば、そういった情報が欲しい。
図書館長	どういうことができるかわからないが、本屋とコラボレーションしたいと思っている。
六原委員	図書館の中に本屋があるのは、賛否両論あり、「うーん」という方もいれば、逆に便利だと思う人もいると思う。「この本、欲しい」と言ったら調べて、「TSUTAYA にあります」とか、「知遊堂にあります」ということが可能であれば、「行って買おう」となるのではないか。
五十嵐委員長	ほかにいかがでしょうか。
本井委員	展示ホールの写真展は、どのくらい盛り上がったか。統計は取っているのか。
図書館長	話題というか、その写真についてお話をされている方がたくさんいた。
本井委員	ビジュアルを見せてくれるし、自分の思い出とリンクしやすいので、話し始めてしまう。良い効果を生みやすい催しなので、是非続けてほしい。ここの所蔵でありながら、普通の本のようにには対応しにくい郷土資料は、こちらから積極的に展示等の形で見せていく必要があると思う。それも 1 年に 1 度ではもったいない。二度でも三度でも市民の親しみが湧くような呼び水にしていきたい。積極的に進めたい。
五十嵐委員長	今後も、展示ホールの写真展を充実していただきたい。 情報発信が大事だという話についてだが、お金を使って広告代理店などプロの会社に任せることも非常に有効だと思うが、いかがか。
図書館長	前職が広告代理店なので、どのくらい経費が必要なのか確認してみたい。
五十嵐委員長	館長さんが、自分でやれるのではないか。
図書館長	一人では力が足りない。

五十嵐委員長	団体で事業をする場合、やっぱりPRが一番大変であり、メインの課題となる。だから、プロに任せたら有効かと思う。
図書館長	前の会社に相談してみたい。本当は一番面白いところだと思う。
五十嵐委員長	そのほかにいかがか。
倉品副委員長	新しい図書館が楽しみだという声が増えている。スケジュール等、今の段階で話せる部分はあるか。
金子課長	三条小学校を解体するのに平成29、30年度とかかるので、それ以降となる。 図書館の機能を含んだ複合施設になるので、図書館の運営を検討いただいている図書館協議会からも、今の図書館を踏まえた中で御意見を伺う必要があると思っている。
五十嵐委員長	参考になるところがあるので、来年度も図書館の見学をしたいと思う。
五十嵐委員長	しかけ絵本コンクールなどに関して質問はあるか。
六原委員	来年も実施するのか。
佐藤係長	来年、第2回について、しかけ絵本コンクールの実行委員と今、実施する方向で詳細を詰めている。発表の段階になったら、市長記者会見等々で告知していきたい。
五十嵐委員長	ほかにないか。
本井委員	去年、一昨年もだが、「ものづくりのまち三条」のイメージアップは非常に目を見張るものがある。発信しているから注目する人が増えているのだと思う。図書館のパンフレットやしかけ絵本のポスター等で、英語版を作ってはどうか。「ものづくりのまち三条」の図書館というようなものを作ってはどうか。便乗でもなんでも良いから、とにかく世間の人に、分かりやすいような形にしたらどうか。
金子課長	去年のしかけ絵本コンクールでは、外国語版の募集要項を作り、姉妹都市に配布した。ホームページでも英語版と中国版を掲載した。また来年度以降も、取り組んでいきたい。
五十嵐委員長	「ものづくりのまち三条」と何かリンクがあるといいと思う。 ほかに何かあるか。
金子課長	公共施設の相互利用という議案の中で、図書館、公民館等、スポーツ施設を含めて、長岡市、見附市と相互利用協定を結ぶこととなった。現在、燕市、弥彦村、田上町と結んでいる相互利用協定と同じく、お互いの市町村にある図書館に行くと本を借りられるということになる。今年の4月1日から始まることにより、お互いの図書館で利用が活発になると思っている。
五十嵐委員長	ほかになければ、これで第3回三条市図書館協議会を閉会とする。